

日本原燃ウラン濃縮工場の稼働経過とウラン生産量・廃棄物量 青森県の癌死統計

		青森県のがん死全国順位 (75歳未満)		
ウラン濃縮工場関係		全体	男	女
1990				
1991				
1992.3	ウラン濃縮工場本格操業開始濃縮機4基製造推定合計5900 t	3月RE-1A	12月RE-1B	RE-1A(150tSWU/年) 開始、12月RE-1B(150tSWU/年) 開始
1993		5月RE-1D	(再処理工場着工)	5月RE-1D(150tSWU/年) 開始
1994	SWU (4%U約1000t製造、劣化U約7400t発生)	9月RE-1C		9月RE-1C(150tSWU/年) 開始
1995				
1996	RE-1は2005.11で計画停止			
1997			10月RE-2A	10月RE-2A(150tSWU/年) 開始
1998		4月RE-2B	10月RE-2C	4月RE-2B(150tSWU/年)開始、10月RE-2C(150tSWU/年)開始
1999				
2000		4月		
2001				
2002		12月		
2003		6月		
2004				47/47
2005.11		11月 (ウラン試験)		47/47
05.11~2006		(3月アクティブ試験開始)	11月	47/47
2007				47/47
2008			2月	47/47
2009				47/47
2010	RE-2は2010.12以降は計画停止		12月	47/47
2011				47/47
2012.3				47/47
012.3~2013	濃縮機2基製造推定合計	2012年3月RE-2A	2013年5月RE-2A	3月RE-2A(37.5tSWU/年) 開始、5月RE-2A(37.5tSWU/年) 開始
2014	376tSWU (4%U約64t製造、劣化ウラン約472t発生) 2016.12ウラン濃縮工場副社長ぐるみ偽報告			47/47
2015				47/47
2016				47/47
2017		9月	9月	47/47
017.9~2018	生産一時停止			47/47
2019				47/47
2020				47/47
2021				47/47
2022				47/47
2023				47/47
2024				47/47
2025	生産開始	6月RE-2A	11月RE-2A	6月RE-2A(37.5tSWU/年) 開始、11月RE-2A(37.5tSWU/年) 開始
2026				21年間
2027				21年間
2028				13年間

*SWU:分離仕事量単位 (濃縮独自の単位: 5.8tSWUで4%濃縮ウラン1t生産: 劣化ウラン7.3t生成)
 *SWUの数量を0.17倍すると4%濃縮ウラン量になり1.26倍すると劣化ウラン量が推定できるようです。

*75歳未満の年齢調整死亡率都道府県比較
 10万人あたりのがん死人数で比較
 2024年青森県全体84.2人/10万人
 // 青森県男性104.4人/10万人
 // 青森県女性 65.9人/10万人